

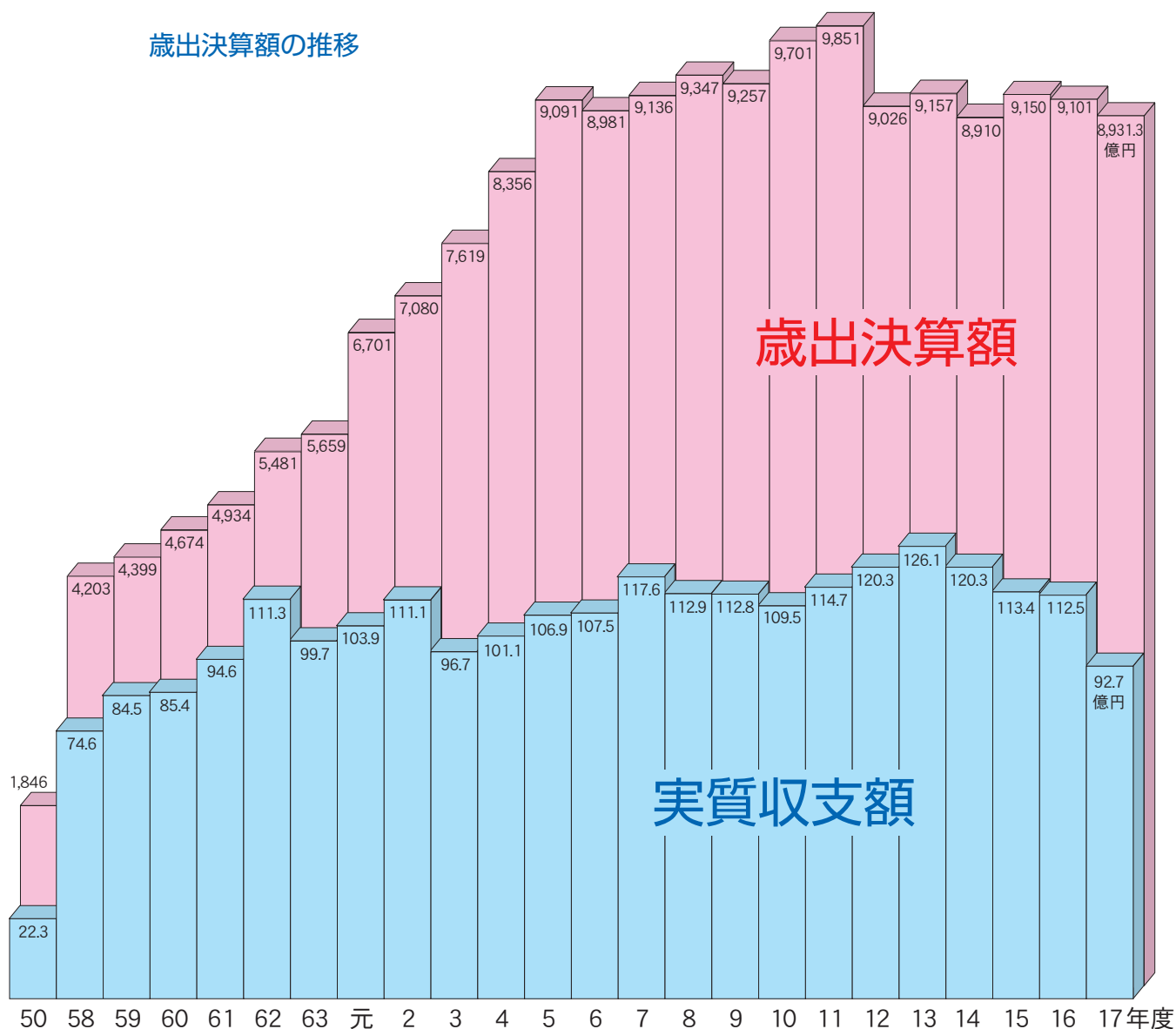
第1章 市町村財政の推移と現状分析

第1部 普通会計

1、決算の状況

(1) 決算の概要

平成17年度の県内市町村の普通会計決算額は、歳入が9,128.3億円、歳出が8,931.3億円で、歳入から歳出を差し引いた額（形式収支）は197.0億円の黒字となりました。



用語解説

普通会計 市町村など地方公共団体の会計は一般会計と特別会計に区分経理されていますが、各団体の会計区分は一律ではないため、一般行政部門を普通会計として整理しています。その他の会計には、その収支を一般会計とは分けて経理する必要がある場合に設けられる会計で、各種の公営企業会計や介護保険事業会計、国民健康保険事業会計、老人保健医療事業会計などがあります。

(2) 決算収支と経常収支比率

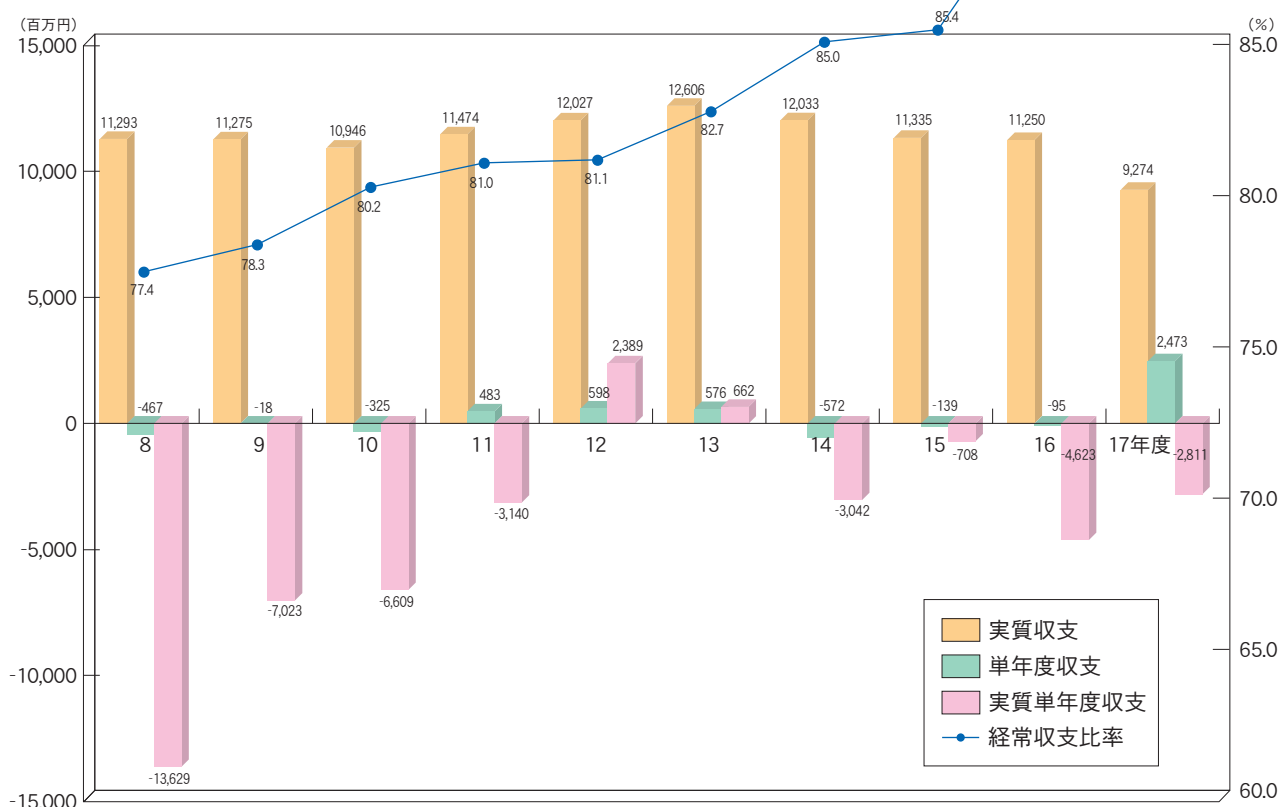
実質収支赤字の団体は昨年度の6団体（全て市町村合併による打切り決算によるもの）から、0団体となりました。

単年度収支は、決算初年度となった平成17年度合併団体で皆増（平成16年度はゼロ、平成17年度は実質収支と同額）となったことなどから24億7千3百万円の黒字に転じました（平成16年度の実質収支－平成17年度実質収支の値と一致していません。）。赤字団体は36団体中20団体でした（前年度は69団体中42団体）。

実質単年度収支は、4年連続して赤字となり、赤字団体は36団体中26団体となりました（前年度は69団体中44団体）。

また、経常収支比率は、単純平均で89.3%となり、前年度（90.8%）と比較して1.5ポイント減少しました。これは、比較的比率の高かった団体が合併したために平均が下がったに過ぎず、加重平均は92.8%（前年度91.8%）と高くなっており、依然として硬直的な財政状況が続いています。

決算収支と経常収支比率の推移



経常収支比率の県内市町村の単純平均と加重平均

(単位: %)

	平成17年度	平成16年度
単純平均	89.3	90.8
加重平均	92.8	91.8

用語解説

経常収支比率 P.33の「財政運営のチェックポイント」参照。

単純平均 全市町村の指標の数値を積み上げ、当該市町村数で除したものの。

加重平均 指標算定式の分子、分母をそれぞれ全市町村分積み上げてから算定したものの。